



「本が読める日常」が奪われている人々がこの世界にはたくさんいます。
「本が読める日常」それは、その国の安全が保障され、自由と人権が守られ、平和であるという証です。

図書館だより

文化図書委員会より お知らせ

令和5年3月号

京都市立北野中学校 図書館

学校司書 坪井 真穂

学級文庫の返却は
3年生は 3月7日(火)終学活後
1, 2年生は3月13日(月)最終休み

万が一紛失本が出たクラスは
返却日までに必ず探し出してください！
見つけた人は委員または担任の先生まで！

文図委員が図書館へ返却しに行きます。
前日にも点検を行います。
それまでに紛失本が出ないよう、
ルールを守ってご利用、ご協力ください。



本を読もう。
もつともつとも本を読もう。
書かれた文字だけが本ではない。
日の光、星の瞬き、鳥の声、
川の音だって、本なのだ。
ブナの林の静けさも、
ハナミズキの白い花々も、
おおきな孤独なケヤキの木も、本だ。
本でないものはない。
世界というものは開かれた本で、
その本は見えない言葉で書かれていく

「世界は一冊の本」長田弘

長田 弘／著「世界は一冊の本」 晶文社 1994年 より一部抜粋

3年生の皆さんへ

いよいよ卒業ですね。おめでとうございます。
3年間みなさんの成長にほんの少しですが、学校司書として関わってこれたことに嬉しさを感じつつ、巣立ちのさみしさをちょっぴり感じています。
この先、心が折れそうなとき、不安で何も手につかないとき、自分が何をしたいのか分からなくなったりした時、目に留まった本を開いてみてください。気が付くと少し心が軽くなっていることに気が付くはずです。
これからも本が読める日常を大切に。

学校司書 坪井

図書館を利用してくれた皆さん！また、図書館の運営に携わってくれた文化図書委員会の皆さん、授業活用頂いた先生方、一年間ありがとうございました。